対象年度	令和 3年度

総合計画実施計画策定及び行政評価シート

事務事業名	紬のふるさと体験授業推進事業	予算事業名	紬のふるさと体験授業推進事業費

予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			10	01	03	2401	経常経費

根拠法令	

総合計画体系	
	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)
	3-5つちかわれた技術を継承する伝統産業の振興（伝統産業）
	①伝統工芸の保存・伝承
	2体験学習の実施

事業の区分	
	主要事業
	重点事業

担当課係等	
	学校教育課
	指導課

事業期間	継続　（平成25年度～令和 3年度）

【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】

郷土愛を培い，よりよい結城市を築いていこうとする強い意欲を高める。

【事業開始のきっかけや他市の状況など】

結城市の特産品をＰＲし，郷土愛を高めるために，大変有効な取組である。また「結城紬」を中心として，小山市との交流を進めることは，両市の将来にとっても，大変意義のあることである。

【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】

市内と小山市の中学２年生を対象に紬の着付け体験を実施し,交流を図る。

【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】

・結城市内の中学２年生　　・小山市の中学２年生

【事業をとりまく環境の変化】

ユネスコ無形文化遺産に登録された結城紬をきっかけとする，地場産業の維持・発展に寄与するものと考える。

【令和 3年度　事業内容】	【令和 4年度　事業内容】	【令和 5年度　事業内容】
市内と小山市の中学２年生を対象に紬の着付け体験を実施し，交流を図る。来年度は２・３年生。	市内と小山市の中学２年生を対象に紬の着付け体験を実施し，交流を図る。	市内と小山市の中学２年生を対象に紬の着付け体験を実施し，交流を図る。

■事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	562	587			
歳入計（千円）		562	587			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	07 報償費	152	176			
	10 需用費	44	44			
	11 役務費	280	281			
	17 備品購入費	86	86			
歳出計（千円）（Ａ）		562	587			
伸び率（％）			4.44			

備考	総合計画　99ページ　　予算書　159ページ

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指　標　名	単　位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	結城着付け体験	回	目標	15.00	15.00	15.00
			実績	15.00	0.00	0.00
	体験ボランティア活動	回	目標	50.00	50.00	50.00
			実績	48.00	0.00	0.00
成果指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B　どちらとも言えない	結城市の将来のためにも必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B　どちらとも言えない	行政主導は否めないが学校との連携が必要である。
	手段の妥当性	A　妥当である	現在のところ妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B　どちらとも言えない	事業の向上のためにはコスト増は必要。
公平性	受益者の偏り	C　偏りがある	中学生に偏る傾向がある。
有効性	成果向上の余地	A　上がっている	郷土愛を高めるには有効である。
進捗度	事業の進捗	A　順調である	諸団体との協力体制が確立されており順調である。

総合評価　　上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

結城市の将来を担う子ども達の郷土愛を培い，よりよい結城市をつくっていこうとする意欲を向上させるためには大変有効であり，この事業を継続できるよう学校と行政が連携していく必要がある。

対応策提言等　　この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

紬の着付け体験は，全ての中学２年生を対象として実施し，紬だけではなく多くの地場産業に注目していきたい。また，小山市との交流を実施したが，改善の余地があると考える。紬を中心とした両市の交流方法をさらに検討する必要がある。

■方向性

１次評価（１次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

□拡充（人・モノ・カネ等の拡充）　■改善改革しながら継続　□現状のまま継続（改善・改革なし）　□統合・新規事業への展開
□縮小　□休止　□廃止・終了　□予定どおりの要求　□一部改善の上要求　□今回は見送り　□その他の処置

方向性の具体的内容
結城市民として郷土愛を育てることが目的であることを再認識させたい。また，小山市との連携を密にしながら，進めていきたい。

２次評価（２次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

□拡充（人・モノ・カネ等の拡充）　□改善改革しながら継続　□現状のまま継続（改善・改革なし）　□統合・新規事業への展開
□縮小　□休止　□廃止・終了　□予定どおりの要求　□一部改善の上要求　□今回は見送り　□その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（１次評価者と同じ場合も記入）
上記評価のとおり。